

研究課題番号	5-2105
研究課題名	対策によるオゾン濃度低減効果の裏付けと標準的な将来予測手法の開発
研究実施期間	令和3年度～令和5年度
研究機関名	国立環境研究所
研究代表者名	茶谷 聡

1. 委員の指摘及び提言概要

学術発表、社会還元も多く、順調に研究が進んでいると判断される。排出インベントリーの作成は完了したとのことであるが、今後それを計算に入れ込む際には、長期スパンでの国内の発生源の変化、たとえばコロナ禍による排出量変化の影響も考慮していただきたい。また、モデルを検証に用いることは有効と思われるが、発生源のデータがきちんと揃わないと正しい検証にならないと思うので、今後気候変動の影響も含めたデータを整備してほしい。研究の成果が、オゾン濃度低減のための対策の有効性評価や、次の取り組みの優先度の明示など将来評価に繋がられること、基準達成に必要なシナリオが提案できるようになることを期待する。

2. 採点結果

評価ランク：A